

今月の特集関連本



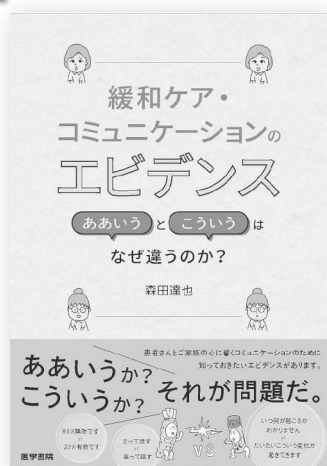
Advance Care Planning のエビデンス

何がどこまでわかっているのか？

森 雅紀、森田達也＝著

定価 2,640 円／B5 判・204 頁／医学書院／2020

「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人と家族、医療者が繰り返し話し合うプロセス」がACPだ。でも不確実な将来を話し合うことは、誰にとっても難しい。どうやって話し合いのきっかけをつくるか？ どうすれば患者と家族の希望に沿った医療・ケアを提供できるか？ 国内外で積み重ねられてきたエビデンスが、ACPを深めるためのヒントを与えてくれる。患者と家族の幸せにつながるACP実践のために、知っておきたいことがある！



緩和ケア・コミュニケーションのエビデンス

ああいこうというはなぜ違うのか？

森田達也＝著

森 雅紀＝執筆協力

定価 2,200 円／A5 判・168 頁／医学書院／2021

「20%効果がある」「80%効果がない」——。言い方によって患者の判断が変わる？ 立って話すか、座って話すかで、与える印象が変わる？ 臨床で出会うちょっと不思議な現象や、どうにもうまくいかない場面。その背景にあるのは、人間の心の特性や、個々人が培ってきた価値観の違いかもしれない。緩和ケアだけでなく、心理学・行動経済学の領域で蓄積されたエビデンスが、臨床での困りごとを解決するヒントを与えてくれる！